

規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 端山園	代表者	山内 幸雄	法人・ 事業所 の特徴	開設して4年。豊國神社の境内の一角に位置し、自然に囲まれた閑静な環境となっている。「住み慣れた地域で、いつまでも‘ありたい自分’で暮らしていける」ことを目指し日常の支援を行っている。
事業所名	地域密着型ケアセンタ ー いまくまの	管理者	浦野 彬博		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センタ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	6人	人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<p>利用者の尊厳やプライバシーの保持については常に意識してケアにあたっている。ケアについても職員側からの押しつけではなく利用者自身がどのような暮らしを望んでいるかを考えながら職員間で相談することを大切にしている。</p> <p>現在毎日職員間のミーティングを実施しており、経験の浅い職員も意見が言える場が作れている。それぞれの職員が気づいた所を共有することでチームとしてより良いケアに繋がられるよう今後も継続していく。</p>			
B. 事業所の しつらえ・環境	<p>・現在は手芸や貼り絵など主に室内で出来る事をされている利用者が多いが、今後は園芸や簡単な家庭菜園など</p>			

	も取り入れて、より季節感を味わえるような環境づくりをしていければと考えている。			
C. 事業所と地域のかかわり	自治連合会や学区の地域ケア会議など地域住民の方との繋がりを深める機会を活かし、事業所の場所やサービスの内容をお知らせする。また周辺に看板があってもいいのではないかと、いう意見もあったが今後の検討課題としたい。			
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議などで利用者の近隣住民の方と直接顔を合わせる機会に積極的に参加する。 ・利用者の近隣住民からの困り事にも相談させていただき、行政などとも協働しながら地域で高齢者を支える街づくりの一翼を担っていく。 			

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にあらためてパンフレットなどの配布を行い事業所を知ってもらう。 ・運営推進会議では事業所の報告だけでなく、地域の困りごとや相談ケースの共有を行う。 ・ 			
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AED 講習を実施し全ての職員が救急対応できるようにする。 ・地域の防災訓練や事業所の防災訓練にお互いに参加することで、いざという時の連携が取れるようにする。 			